

令和2年度

江北町教育委員会の権限に属する事務の管理
及び執行の状況の点検及び評価報告書

目 次

1	はじめに	1
2	江北町教育委員会の活動内容	2
	(1) 教育委員会の会議運営	
	(2) 教育委員の活動	
3	主要な施策に対する事業の点検・評価一覧	
I	「生きる力」(確かな学力、豊かな心、健やかな体)を身につけ、バランスのとれた児童・生徒を育む学校教育の推進	3
II	教育活動を支える教育環境の整備・充実	4
III	社会教育・生涯学習の振興、歴史や文化の継承と保存活用	5
IV	夢・感動と活力を生むスポーツの振興	6
V	子ども・子育て支援事業の推進	7
4	令和2年度点検評価シート	8

2 江北町教育委員会の活動内容

(1) 教育委員会の会議運営

ア 教育委員会 定例会 11回 臨時3回 計14回

イ 議決の内容

- (ア) 新型コロナウイルス感染症拡大防止の為の対応方針
- (イ) 準要保護認定
- (ウ) 基本方針計画の策定
- (エ) 任命関係
- (オ) 教職員人事異動の方針・実施
- (カ) 報告、議案の審議
- (キ) その時々 の 事案

ウ 議事録作成

- (ア) 開会及び閉会に関する事項
- (イ) 出席委員の氏名
- (ウ) 会議に出席した者の氏名
- (エ) 議決事項
- (オ) 教育長会等の報告の要旨
- (カ) 議題及び議事の概要
- (キ) その他

(2) 教育委員の活動

ア 諸行事への出席（令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止による中止等の為、一部不参加）

- (ア) 入学式 卒業式 入園式 運動会 体育大会 幼児教育センター
学校行事等への出席
- (イ) 学校訪問（幼稚園、小学校、中学校）
- (ウ) 小中学校授業研究会への出席
- (エ) 教育委員会以外の会議や大会などへの出席
- (オ) 杵西地区教育委員研修会 県内教育委員研修会出席

イ 総合教育会議への出席

- (ア) 協議内容
 - a 第3次江北町教育大綱について
 - b 学校施設改修計画について
 - c フリースクールについて
 - d 待機児童の解消について

3 主要な施策に対する事業の点検・評価一覧

4段階評価 【A】…十分達成 【B】…ほぼ達成
 【C】…やや不十分 【D】…不十分

《I 「生きる力」(確かな学力、豊かな心、健やかな体)を身につけ、バランスのとれた児童・生徒を育む学校教育の推進》

		自己点検 評価	教育委員 評価	教育委員会 評価
基本方針	I-1 「生きる力」の基礎を培う幼児教育の推進	【B】	【A】	【B】
主要な施策	・幼児教育・保育内容の充実 ・幼保小連携【新】		【B】 【A】 【B】	
基本方針	I-2 「確かな学力」を育む教育の推進	【A】	【A】	【A】
主要な施策	・県調査の活用促進【新】 ・家庭学習の充実等、家庭・地域の教育力の向上		【A】 【A】 【A】	
基本方針	I-3 「豊かな心」を育む教育の推進	【A】	【A】	【A】
主要な施策	・道徳教育の充実 ・不登校対策の充実		【A】 【A】	
基本方針	I-4 「健やかな体」を育む教育の推進	【A】	【A】	【A】
主要な施策	・学校給食の充実 ・安全教育の推進		【A】 【A】	

《Ⅱ 教育活動を支える教育環境の整備・充実》		自己点検 評価	教育委員 評価	教育委員会 評価
基本方針	Ⅱ-1 幼児教育を支える環境の整備	【A】	【A】	【A】
主要な施策	・充実した教育活動ができる施設環境の整備 ・特別な支援を要する子への体制整備の充実		【A】 【A】	
基本方針	Ⅱ-2 学校教育環境の整備推進	【A】	【A】	【A】
主要な施策	・学校運営協議会（コミュニティー・スクール）の充実 ・特別支援教育の充実【新】 ・交流事業の充実【新】 ・教職員の多忙化の解消【新】		【A】 【A】 【A】	

《Ⅲ 社会教育・生涯学習の振興、歴史や文化の継承と保存活用》

		自己点検 評価	教育委員 評価	教育委員会 評価
基本方針	Ⅲ-1 生涯学習体制の確立と活動の推進	【A】	【A】	【A】
主要な施策	・ライフステージに応じた教室・講座等の開催 ・公民館、佐賀のへそ・ふれあい交流センターの 学習環境整備の充実		【A】 【A】 【A】	
基本方針	Ⅲ-2 青少年の健全育成	【A】	【A】	【A】
主要な施策	・「江北町青少年育成町民会議」の活動推進【新】 ・青少年の主体的な社会参加活動の促進		【A】 【A】	
基本方針	Ⅲ-3 文化財の保護・継承	【A】	【A】	【A】
主要な施策	・町指定文化財の保護と活用 ・町誌編さん作業		【A】 【A】	
基本方針	Ⅲ-4 人権・同和教育の推進	【A】	【A】	【A】
主要な施策	・人権・同和教育の啓発と人権学習機会の提供		【A】 【A】	

《IV 夢・感動と活力を生むスポーツの振興》

		自己点検 評価	教育委員 評価	教育委員会 評価
基本方針	IV-1 社会体育施設の整備充実及び管理体制の拡充	【B】	【B】	【B】
主要な施策	・スポーツクラブ登録制度による施設運営 ・社会体育施設の管理・整備		【B】 【A】 【B】	
基本方針	IV-2 生涯スポーツの推進とスポーツ交流事業の推進	【A】	【A】	【A】
主要な施策	・ニュースポーツの推進と普及 ・総合型地域スポーツクラブ（がばい余暇クラブ）による取組		【A】 【A】 【A】 【A】	

《V 子ども・子育て支援事業の推進》

		自己点検 評価	教育委員 評価	教育委員会 評価
基本方針	V-1 子どもの心身の健やかな成長に資する教育・保 育環境の整備	【A】	【A】	【A】
主要な施策	・民間活力による保育供給量の拡充		【A】 【A】	
基本方針	V-2 子育て支援事業の推進	【A】	【A】	【A】
主要な施策	・こどもセンター「うるる」事業 ・給食費助成事業による経済的負担の軽減		【A】 【A】	

I 「生きる力」（確かな学力、豊かな心、健やかな体）を身につけ、バランスのとれた児童・生徒を育む学校教育の推進

1 「生きる力」の基礎を培う幼児教育の推進

小学校以降の教育や生涯にわたる学習を見通しながら、幼児の心身の発達段階に応じた経験や体験を通して、自立心や社会性を養い保護者、小学校、地域等との連携を重視し、人間形成の基礎を育みます。

● 令和2年度 主要な施策・内容

4段階評価 【A】十分達成

【B】ほぼ達成

【C】やや不十分

【D】不十分

主要な施策	主要な施策の概要	成果	自己点検による事務局の課題	教育委員による指摘・指導
<p>幼児教育・保育内容の充実（幼）</p> <p>教員・保育士の資質の向上</p>	<p>・公立幼稚園として、町内の幼児教育をけん引し、教育・保育の質の向上に努めます。</p>	<p>・毎月、町内園長会を開催して各園の情報交換を行うことで、保育の内容について深く考える機会ができました。</p> <p>・月1回の園内研修を実施し、それぞれが課題を見つけて保育に取り組み質の向上につながってきている。</p> <p>・一人1回以上の園外研修はコロナ禍でオンライン研修となった。それを園内研修で取り上げ、全員で研修する機会をつくり実践に生かした。</p>	<p>・今後は、園長のみでの情報交換にとどまらず、実際に保育にかかわる職員の情報交換の場をつくることで保育の質の向上につなげていくことが大切だと思います。</p>	<p>・幼稚園、保育園の数が増えた中で、公立幼稚園としてのリーダーシップを発揮し、町内の乳幼児の発育・発達ため、効率的な指導内容・方法について研究して行ってほしいと思います。</p> <p>・各園との情報が実際の保護者と共有されて活かされる様期待します。</p> <p>・積極的な情報交換をお願いします。</p> <p>・情報交換、共通理解が出来る場の設定をぜひお願いしたいと思います。</p>

令和2年度 点検評価シート

主要な施策	主要な施策の概要	成果	自己点検による事務局の課題	教育委員による指摘・指導
幼保小連携 (幼)	<ul style="list-style-type: none"> ・幼保小合同研修会等を行い、幼稚園・保育園、小学校それぞれの特性の違いを理解していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響で、合同研修会などの交流活動はできませんでした。 ・年3回の連絡会は1回しか実施できませんでしたが、必要に応じて職員が出向くなどして個別に情報共有を行ってきました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でもできる新たな形の連携活動を考え、子ども達がスムーズに小学校へと移行できる環境づくりが必要だと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学ぶ意欲の始まりは、幼少の頃です。家庭との連携も図り、情報を共有し、小学校へ確実につなげていくことが重要です。密度の濃い幼保小連携をお願いします。 ・子ども達が小学校へ安心して移行できる様、少しでも新しい環境が体験できる機会をつくって下さい。 ・ワクチン接種の広まり次第では今後交流活動も再開しても良いと思います。 ・感染対策をしっかりとった上で研修会等の交流活動を継続して実施してほしいと思います。
		4段階評価		B

◆ 課題に対する対応

【幼児教育・保育内容の充実】

・毎月1回程度の町内園長会を定例化し、引き続き情報交換や情報共有を行い各園に持ち帰ることで、町全体の保育の質の向上につなげていきます。

【幼保小連携】

・今後のコロナの状況も踏まえて、連携の方法を模索して幼保小連携を深めていけるような環境づくりをしていきます。

◆ 有識者委員会の意見

・コロナ禍での幼児教育・保育内容の充実は、厳しいものがあつたと推測される。しかし、だからこそ研修の充実をはかってほしいという期待がある。具体的には、園長会への主任保育士の参加や、オンライン研修会の実施等に今後取組んでほしい。

令和2年度 点検評価シート

主要な施策	主要な施策の概要	成果	自己点検による事務局の課題	教育委員による指摘・指導
家庭学習の充実等、家庭・地域の教育力の向上(学)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会を通して、学力の現状や課題について保護者・地域と共通の認識に立ち、家庭学習の充実、家庭・地域の教育力向上に取り組めます。 ・毎月第1水曜日に実施しているノーテレビ・ノーゲーム・ノースマホデーを推進します。 ・SNSの正しい使い方に関する講演会等を実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の協力による学習補助や指導に取り組むことで、児童生徒と地域がつながりを持つことができました。 ・学校からのお便りやMCA無線を通じてノーテレビ・ノーゲーム・ノースマホデーを推進しましたが、児童の中にはゲームの時間が長い子が多いようです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染予防を行いつつ、ひきつづき地域の協力をうけながら教育力の向上に取り組む必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自学自習のできる子、できない子によって家庭学習の成果が大いに異なると思います。よく研究目標として掲げられる「自ら学び……」を達成できるよう研究してほしいと思います。 ・親の目の届かないところでのゲームやスマホの使用が常習化している子どもへの対策は家庭内でどういう対応が有効なのかを保護者と情報を共有し教育力向上に繋げてほしいと思います。 ・インターネットに対する知識やSNS等の注意等を教える時期に来ていると思います。 ・ゲーム・スマホについては家庭での指導・協力が不可欠です。保護者、家庭への働きかけが必要だと思います。
		4段階評価		A

◆ 課題に対する対応

【県調査の活用促進】

- ・「聞く力・話す力」に主眼をおいた指導の強化や、自ら学びに向かう姿勢の育成に取り組んでいきます。

【家庭学習の充実等、家庭・地域の教育力の向上】

- ・新型コロナウイルス感染予防対策を行いつつ、家庭・地域が児童生徒の身の回りにある課題に共に取り組んでいきます。

◆ 有識者委員会の意見

- ・学力向上に関しては絶えず点検し、その上で改善策を試みていくことのできるような循環を考えて行く必要がある。
- ・スマホやSNSの使い方については、スマホの所持は保護者の判断に委ねられていることから、家庭と連携して使い方等についての理解促進をPTAが主体的になって取り組んでいくこと必要である。

3 「豊かな心」を育む教育の推進

学校の教育活動全体を通じた道徳教育を家庭や地域と連携して実施することで、子ども達の豊かな人間性や社会性を育むとともに、郷土の自然や歴史に親しむ態度の育成に努めます。

あわせて、子どもの発達段階に応じ、社会の形成者としての資質・能力を育むための人権に関する正しい知識や人権感覚を身に付けさせ、家庭や地域との連携を図りながら、人権・同和教育を推進します。

不登校については、未然防止や早期発見・早期対応のための体制の充実・強化及び不登校の状況に応じて学校復帰に向けた段階的な支援の充実を図るとともに、家庭や関係機関等との連携強化を進めます。

いじめ問題については、いじめ防止対策推進法に基づき学校の組織的な指導体制の強化とともに、家庭、地域、関係機関等との連携強化を図り、いじめの未然防止や早期発見・早期対応及び被害の最小化、再発防止に向けた取組を充実させます。

令和元・2年度文部科学省並びに佐賀県教育委員会研究指定「道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」の一環として、道徳の授業改善の研究を進めます。

また、道徳教育加配教員を活用し、新学習指導要領を踏まえ、全教職員が一体となった道徳教育の推進体制づくりを行うとともに道徳科の改善・充実に努めます。

さらに、児童生徒支援教員を活用し、学習指導上、生徒指導上又は進路指導上、特別な配慮が必要な児童生徒に対して、その事情に応じた特別な指導を行うとともに、併せて人権・同和教育の推進に係る取組を行います。

● 令和2年度 主要な施策・内容 4段階評価 【A】十分達成 【B】ほぼ達成 【C】やや不十分 【D】不十分

令和2年度 点検評価シート

主要な 施策	主要な施策の概要	成果	自己点検による事 務局の課題	教育委員による指摘・指導
道徳教育の充 実 (学)	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校全学級で年間1回以上、保護者や地域の方々に道徳の授業を公開します。 ・学校において指導内容の重点化を図り、道徳教育の全体計画の評価、改善を行います。 ・小中連携を図りながら、道徳の授業改善の研究を進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染予防のため公開授業ではなく、実施した授業についての道徳通信を発行しました。 ・指導内容の重点を設定したことで教師同士での授業力を高めることができました。 ・小中学校で令和元年度・2年度は文部科学省と県の指定を受け、道徳教育の研究に小中連携し同一テーマで取り組みました。先生方の道徳への取組意識を高めることができました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染予防対策をとりながらの小中連携、地域とのかかわり方について改良する必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳的が教科の一つになったにしろ、道徳教育は学校教育活動全体の中で実施されるべきで、機会あるたびに指導してほしいと思います。 ・道徳的な身近な問題に対し大人と一緒に考え話し合える機会を増やして道徳心や豊かな心の発達に繋げてほしいと思います。 ・引き続き道徳教育の研究に努めて下さい。 ・道徳の授業だけではなく、日常生活の中で考え行動できるように今後期待しています。

令和2年度 点検評価シート

主要な施策	主要な施策の概要	成果	自己点検による事務局の課題	教育委員による指摘・指導
不登校対策の充実 (学)	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒が、スクールカウンセラーによるカウンセリングを受けることができる体制を整備します。 ・小中学校に町費のスクールソーシャルワーカーを1名ずつ配置し、スクールソーシャルワーカーのコーディネートによる家庭や関係機関等が連携・協力した取組を支援します。 ・町福祉課や民生委員・児童委員との連携を図ります。 ・「別室における学校生活支援事業」を活用し江北中の「ピッキールーム」に常時支援員を配置します。支援員は、児童生徒の困り感に応じて支援を行い、教室復帰を目指します。 ・教育の機会の確保等に関し、具現化に向けたシステム作りを研究します。【新】 	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラーによる専門的見地からのアドバイスや関係機関との連携を図りながら継続的に関わり続けることにより児童生徒や家庭への支援ができました。 ・スクールソーシャルワーカーが問題を抱えている各家庭を訪問し、相談支援や家庭への働きかけをするとともに、学校への情報提供や対応方法の助言を行うことができました。 ・「別室における学校生活支援事業」を活用することで、生徒の中には登校できていない状況から別室へ登校できるようになったり、別室から教室へ行き授業を受けられるようになる子もいました。 ・フリースクールに通う児童生徒への補助事業を整備し、教育の機会を確保する体制が整いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒、家庭、学校の中での対応だけでなく、外部機関との支援連携にも力を入れる必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な対策・対応、法等にご苦労様です。なかなか成果が上がらないこともあるかと思いますが、関わって頂いている先生方やスクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー、また、関係機関の協力を得て、子ども達が楽しく学校生活を送れるようお願いいたします。 ・教室登校にとらわれず子供たちが安心して活動できる居場所づくりで成果が見られます。今後も子ども達に寄り添った支援に期待します。 ・児童生徒の困り感を解消し登校できるようになったり、教室復帰できた事例があった事はとても良い事です。 ・不登校の要因には様々なケースがあり適切な対応が必要です。スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー等を活用し、減少に繋げてほしいと思います。
		4段階評価		A

◆ 課題に対する対応

【道徳教育の充実】

- ・新型コロナウイルス感染予防対策を取りながら、小中連携や地域との交流を継続していきます。

【不登校対策の充実】

- ・外部機関へつなげる橋渡し役としてスクールソーシャルワーカーを活用し、不登校の未然防止対策に取り組みます。

令和2年度 点検評価シート

◆ 有識者委員会の意見

- ・主な施策に対する取り組みの実施状況や、その成果について明確に記されていない部分がある。きちんと取り組みの成果と課題について明記してほしい。
- ・道德通信の発行がなされたのは、評価できるのではないか。
- ・学校でも引き続き多機関・多職種連携に積極敵に取り組む体制を作っていくしてほしい。

4 「健やかな体」を育む教育の推進

児童生徒の健康や体力の向上については、学校教育・スポーツと生活習慣や食生活に関する指導を関連付け、学校・家庭・地域が連携して取り組みます。

子ども達が食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることができるよう、学校においても積極的に食育に取り組みます。

登下校時や校内における事件、事故、災害から子どもを守るため、様々な場面を想定し、学校安全計画に基づいて、子どもの危機管理意識の高揚を図りながら危険予測、危機回避能力等を向上させます。

● 令和2年度 主要な施策・内容

4段階評価

【A】十分達成

【B】ほぼ達成

【C】やや不十分

【D】不十分

令和2年度 点検評価シート

主要な施策	主要な施策の概要	成果	自己点検による事務局の課題	教育委員による指摘・指導
<p>学校給食の充実(学)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養バランスのとれた献立作りに取り組みます。 ・安全で良質な食材を選定します。 ・食物アレルギー対応の充実を図ります。 ・施設設備の維持管理及び安全管理と衛生管理の徹底を図ります。 ・全学年において、年1回食育の授業を実施します。 ・異物混入防止対応マニュアルにより異物混入防止及び衛生管理に努め、状況に応じた的確な判断と迅速な対応を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食法栄養摂取基準により、季節のメニューを取り入れた献立作りを行いました。 ・検品時に、すべての食材について点検を行い、質が劣るものについては業者に依頼・指導を実施しています。 ・アレルギー対応は、児童の状況、保護者の意向などを総合的に判断し、個別に除去食の対応（養護教諭、栄養教諭、保護者で事前面談、また学級担任との密な情報共有）を行い、安全安心な学校給食の提供ができました。 ・施設維持については、オイルタンク塗装、エアーカーテン修理、空調吸気グリル補修を実施しました。また、安全管理、衛生管理として、調理場内の柱・壁保護補修、タイル補修、貯水槽電極取替等の修繕を行い、安全な調理場環境を整備しました。 ・全学年、年1回の食育授業を実施しました。 ・令和2年度異物混入件数 虫4件、髪の毛3件、その他2件 件数は昨年度より増えましたが、報告時にはマニュアルに沿った迅速な対応を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設修繕については計画的に実施していますが、調理場内の大型調理器具の修繕についても計画的に修繕・部品更新を行います、施設全体の長寿命化を図る必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全安心な学校給食を提供するためには衛生管理の行き届いた施設設備は重要なことです。不備などところがあれば早急に修理してほしいと思います。 ・季節ごとの旬の食材を工夫して献立に取り入れられ、食べ慣れない食材を食べる良い機会になっています。今後も安全安心な給食の提供を期待します。多様な家庭環境の中、学校給食が唯一の栄養バランスのとれた食事だという子どもがいる事が気になります。 ・事故が起きないように日頃から設備・器具の点検をし、安全に調理できる様お願いします。 ・施設修繕は安全管理を図る上でとても重要です。計画的に実施、修繕をお願いします。

令和2年度 点検評価シート

主要な施策	主要な施策の概要	成果	自己点検による事務局の課題	教育委員による指摘・指導
安全教育の推進 (学)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校安全計画に基づき、避難訓練や安全指導を実施します。 ・学校において交通安全教室を実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校ともに学校安全計画に基づき、避難訓練等を計画的に実施することができました。 ・新型コロナウイルス感染予防のため密を避け、学級ごとに交通安全教室を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒に日常のなかでのヒヤリハットを考えさせ、意識させる必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全教育の基本は意識づけだと思います。学校教育活動全体の中で機会あるごとに指導してほしいと思います。 ・災害時を想定した児童の引き渡し訓練の実施で実際の災害時に混乱しないような訓練となった。今後も定期的な訓練で災害時に備えてください。 ・近年、小中学生が巻き込まれる事故が増えています、通学路の再点検も必要と思います。 ・安全について、日頃から児童・生徒への指導をお願いします。
		4段階評価		A

◆ 課題に対する対応

【学校給食の充実】

- ・調理場内における大型調理器具の修繕・部品更新も計画的に実施し、施設全体の長寿命化を図ります。

【安全教育の推進】

- ・児童生徒が自ら危険な場面を想像し、対処できるよう促していきます。

◆ 有識者委員会の意見

- ・異物混入があっているのならば、評価はAではなく低くなるのではないかと。しかし昨年度よりも件数が減少しているのならば、A評価もありうるのではないかと。判断基準を明確にしてほしい。ただ、どちらにしても異物混入は好ましくないことから、一層の努力を期待したい。

II 教育活動を支える教育環境の整備・充実

1 幼児教育を支える環境の整備

幼児一人一人の資質・能力を育んでいくために、幼児の自発的な活動としての遊びを生み出すために必要な環境の整備に努めます。

● 令和2年度 主要な施策・内容

4段階評価 【A】十分達成 【B】ほぼ達成 【C】やや不十分 【D】不十分

主要な施策	主要な施策の概要	成果	自己点検による事務局の課題	教育委員による指摘・指導
充実した教育活動ができる施設環境の整備(幼)	<ul style="list-style-type: none"> 業者による遊具点検を実施し、優先順位を設定して改修します。令和2年度は、小型雲梯・5連鉄棒の改修を行います。 園児の安心・安全の確保のため、保育室の床張り替え工事を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度、小型雲梯、鉄棒の改修及び保育室一部屋の床張り替えを行い、安心安全な環境整備ができたと思えます。保育室の床張り替えは年次計画で毎年一部屋ずつ行っていく予定です。 	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化に伴う修繕箇所も増えてくるため、日常点検をしっかりと行い安心安全な環境の中で充実した活動ができるようにしていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 「遊びを通して学ぶ」を教育の基本とするならば、遊ぶための環境づくりは重要です。安心安全な環境を目指してください。 日常点検で早期発見を心がけて下さい。幼児の安全な活動の為にも今後もしっかり続けてください。 危険箇所を見極め、修繕を行ってください。 安心して活動ができる様に継続して点検を行ってください。
特別な支援を要する子への体制整備の充実(幼)	<ul style="list-style-type: none"> 学期に1回計画的な園内支援会議を行い、緊急な場合はその都度支援会議を開き支援の方法を検討していきます。 専門的な役割を担う教職員の積極的な研修への参加を促します。 	<ul style="list-style-type: none"> 学期に1回の支援会議に加え、日々の情報共有を密にしたことで個々に合った支援ができたと思えます。 園外での研修ができなかったため、園内での話し合いを増やし知識を高めることに努めました。 	<ul style="list-style-type: none"> 個々の状況に応じたかわりができるような体制整備や知識の習得に努める必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> 日々の情報共有ができ、支援できたことは大変素晴らしいことだと思います。日頃からの目配り気配りを大切にしてください。 園外での研修ができなかった分、園内でのコミュニケーションが密になった事は良かったと思います。今後も幅広い知識の習得でより良い支援に繋がる事を期待します。 支援の必要な子が専門的な指導が受けられるように体制を整えて下さい。
		4段階評価		A

令和2年度 点検評価シート

◆ 課題に対する対応

【充実した教育活動ができる施設環境の整備】

- ・業者による点検に加え、日々の点検をしっかりと行い計画的な修繕計画等を立てて、安心安全な教育活動ができる環境整備を行っていきます。

【特別な支援を要する子への体制整備の充実】

- ・多様化する支援内容に対応できるように園内外の研修を充実させ、個々に合ったかかわりができるように努めます。

◆ 有識者委員会の意見

- ・施設環境の整備充実は、引き続き行ってほしい。
- ・就学前においても特別な支援を要する子ども達も増加をしている。保育士たちの研修を充実させてほしい。

令和2年度 点検評価シート

2 学校教育環境の整備推進

学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を活用し、学校と地域が同じ目標を持ち、一体となって子どもを育てていくことを目指します。また、小中一貫教育に向けた取組、特別支援教育や外国語教育、そして児童生徒への支援をより充実させるために学校教育環境の整備推進に取り組みます。また、学校徴収金管理システムと事務補助員の配置を継続し、教職員の多忙化解消に努めます。

● 令和2年度 主要な施策・内容 4段階評価 【A】十分達成 【B】ほぼ達成 【C】やや不十分 【D】不十分

主要な施策	主要な施策の概要	成果	自己点検による事務局の課題	教育委員による指摘・指導
特別支援教育の充実(学)	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育の理解・啓発を推進します。 発達障害やその傾向のある児童生徒に対する適切な指導及び必要な支援を行います。 特別支援学級や通級指導教室の環境整備と指導教員の研修の充実を図ります。 学校教育支援員の研修会を開催し、資質の向上を図ります。 小中学校の通級指導教室を活用し、個に応じた指導・支援の充実を図ります。【充】 	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援学級の指導教員に研修へ積極的に参加していただきました。 通級指導教室に通うことにより落ち着きを見せたり、積極的に授業に参加できるようになる子どもいるなど、個々に対応することにより充実した支援ができました。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も指導教員と学校教育支援員との連携を強化し、児童生徒へのサポートの充実を図る必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> 発達障害のある子どもをいかに理解するか。将来の見通しをいかに持たせるか。家庭との連携を図り、どのように支援していくか。様々な方策を研究してほしいと思います。 指導教育と教育支援員との連携は不可欠です。情報共有に工夫をして個に応じた指導・支援ができる様期待します。 多様な児童生徒に対し支援のしかたも変わるとは思いますが、情報共有してサポートしてください。 指導教員の研修を継続し、さらなる充実をお願いします。
教職員の多忙化解消(学)	<ul style="list-style-type: none"> 学校徴収金管理システムと事務補助員の配置を行い、事務補助員が集金業務や印刷業務等を担うことにより、教職員の多忙化解消に努めます。 学校の業務改善を図るために校長研修会等で検討します。 	<ul style="list-style-type: none"> 事務補助員やスクールサポートスタッフの配置により、教職員が職務に集中できる環境の整備に寄与することができました。 月に1度の校長研修会により、学校と行政との情報共有の場を設けることができました。学校徴収金システムを整備し、集金業務が口座振替となったことにより負担が軽減されました。また、昨年度は小中学校ともに時 	<ul style="list-style-type: none"> 教職員の多忙化に対する負担軽減を図るため、引き続き改善策を検討する必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> 多忙化の中身は、実務的なものとメンタル的なものがあると思います。気持ちよくまた楽しく勤められる環境づくりをお願いします。 今後も教職員負担軽減の為の改善策を検討してください。 さらなる多忙化解消に向け改善・検討をして下さい。 業務の分散化と改善策があるならば検討をお願いします。

令和2年度 点検評価シート

主要な施策	主要な施策の概要	成果	自己点検による事務局の課題	教育委員による指摘・指導
		<p>間外勤務時間数は減っています。その要因は調査しなければなりませんが、コロナにより行事や、その準備に係る時間が減ったり、部活動が少なくなったことによる時間外勤務が減少したりしたことによるものと思われます。</p>		
<p>交流事業の充実（総）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校交流事業を通して、東京都足立区立江北小学校との交流を行うことにより、自身の住む地域への関心を高めます。 ・中学生海外交流事業ではオーストラリアへ渡豪し異文化を体験することで、日本文化の魅力を再認識すること、お互いの多様な文化を認め合うことを目指します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、訪問活動は中止しました。しかし、交流の絆を深めるため、小学校は足立区、中学校はオーストラリアの特産物や郷土料理を使ったメニューを子供たちで作成し、全学年で、その給食を食べながら、交流先を学ぶ事業を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止を考えると訪問交流については、慎重に検討する必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・何らかの方法で交流事業は継続して欲しいと思います。 ・交流先の特産物や郷土料理で交流先を学ぶ事は良かったと思います。しばらくは訪問交流はできないと思いますので交流方法を工夫して事業を行ってください。 ・今しばらく感染症防止の為、訪問は厳しいかと思います。 ・訪問活動ができることが望ましいですが、交流内容・方法を工夫して、ぜひ継続できる様をお願いします。
<p>学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の充実（総）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会を年4回開催します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域団体の代表を協議会構成委員として、年4回協議会を開催しました。 ・地域が学校の応援団となるように「江北っ子応援団」が本格的に指導し、小中学校で、延べ20日の授業応援（裁縫、調理実習、校外活動引率、体験活動）を行い、地域と共に学校教育を行うことができました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・江北っ子応援団の事業継続について、応援団員の継続的な確保が課題です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「江北っ子応援団」としてご協力いただいた皆様方にお礼申し上げます。将来の江北町を背負っていく子供たちの育成に今後ともご協力ください。 ・「江北っ子応援団」の方が学校の授業応援に来て、知恵を授けて頂く事は子ども達には貴重な体験だと思います。学校の敷居を低くして多くの応援団の方が来て頂けるよう企画してください。

令和2年度 点検評価シート

主要な施策	主要な施策の概要	成果	自己点検による事務局の課題	教育委員による指摘・指導
		・小中学校の学校評価を行い、地域住民の視点から学校評価を行うことができました。		・計画どおり活動ができていると思います。 ・「江北っ子応援団」の活動をもっと発信して地域で育てていくことを意識してもらえるように、情報発信の方法を工夫して下さい。
		4段階評価		A

◆ 課題に対する対応

【特別支援教育の充実】

- ・指導教員や学校教育支援員との連携により、児童生徒の困り感の改善につなげるよう対応していきます。

【教職員の多忙化の解消】

- ・引き続き事務補助員等を活用することにより教職員の負担軽減対策に取り組んでいきます。

【交流事業の充実】

- ・足立区及びオーストラリアの感染状況を注視し、交流内容を検討します。また、訪問交流ができない場合は、訪問以外の形で交流の絆を深める活動を検討します。

【学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の充実】

- ・協議会構成委員である地域の各団体を中心に、江北っ子応援団への支援を依頼し、団員の継続的な確保に努めます。

◆ 有識者委員会の意見

- ・学校徴収金システムが整備され、集金業務が口座振替となって負担が軽減されたことは、評価できる。引き続き、教職員の負担軽減に努めて行ってほしい。
- ・交流事業は、コロナ禍において慎重に取り組む必要がある。事業を中断することなく、子ども達の交流を促進する手立ての開発に取り組んでほしい。
- ・学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の充実は、求められるところである。社会教育での学校地域支援本部活動と連動させながら一体的に取り組んでほしい。

令和2年度 点検評価シート

◆ 有識者委員会の意見

- ・ネイブルの指定管理者との意思疎通をはかり、利用者からのクレームについて迅速に対応できるようにしてほしい。
- ・公民館でのコロナ対応について、ふれられていない。公民館としてコロナ禍における施設の利用促進について検討してほしい。

2 青少年の健全育成

青少年の豊かな創造性と強い意志力を培うとともに、家庭・学校・地域社会が連携し一体となり、地域ぐるみで共働して、地域社会に貢献する青少年の健全育成を図ります。

● 令和2年度 主要な施策・内容

4段階評価 【A】十分達成 【B】ほぼ達成 【C】やや不十分 【D】不十分

主要な施策	主要な施策の概要	成果	自己点検による事務局の課題	教育委員による指摘・指導
「江北町青少年育成町民会議」の活動推進(生)	・夏季休業中に、青色防犯パトロール車両によるパトロールを実施します。	・年間を通じた活動の中でも、夏季休業においては重点的に町関連団体と協力して実施しました。 また、地域環境点検活動の実施や、あいさつ運動も定期的に実施し、活動推進をおこないました。	・地域ぐるみで「青少年の健全な育成」を図るための地域の環境づくりを行う必要があります。	・夏季休業中だけでなく、日頃から子ども達の安全を守るため、活動していただきありがとうございます。 ・防犯パトロールは長期休業中は(春・夏・冬)重点的に実施して頂きたいと思います。 ・町内団体による見守りパトロールにより子ども達も安心安全に過ごせていると思います。 ・青色防犯パトロール車を見かけると安心します。地域の安心・安全の為に引き続きパトロール実施をお願いします。

令和2年度 点検評価シート

主要な施策	主要な施策の概要	成果	自己点検による事務局の課題	教育委員による指摘・指導
青少年の主体的な社会参加活動への促進(生)	・青少年の社会参加を推進します。(町民体育大会、地域行事等)	・総合型地域スポーツクラブや文化協会への加入促進、体育協会による子ども向けの教室実施等において参加の推進をおこないました。 また、各団体へは新型コロナウイルス感染症対策の基本方針を示しており、基本方針に基づいた感染対策を講じて活動してもらいました。	・コロナ禍の中でも安心して参加できるような取り組みが必要です。	・地域の活性化には、地域の行事に積極的に参加することが必要です。子ども達が参加しやすい、あるいは参加したいと思う内容等を検討することが必要と思います。 ・色々な競技を体験する機会がある事はとても良い事だと思います。今後も各スポーツ団体による子供向け教室が開催されることを期待します。 ・感染症対策を十分にして活動してほしいと思います。 ・行事・大会等が行えるように、感染対策と工夫が必要だと思います。
		4段階評価		A

◆ 課題に対する対応

【「江北町青少年育成町民会議」の活動推進】

・引き続き、町内の関係団体と協力しながら活動を推進していきます。

【青少年の主体的な社会参加活動への促進】

・各団体の活動については各「感染症拡大予防ガイドライン」等を参考に活動の推進をおこないます。

◆ 有識者委員会の意見

- ・コロナ感染症への対応はもちろんであるが、基本方針についての青少年団体への周知徹底をさらに図る必要があったのではないか。
- ・放課後児童クラブの教室利用については、抜本的な対策が必要と考えられる。

3 文化財の保護・継承

令和2年度 点検評価シート

21世紀は人権の世紀であり、あらゆる差別の撤廃のため人権・同和教育の啓発と学習機会を充実します。

● 令和2年度 主要な施策・内容 4段階評価 【A】十分達成 【B】ほぼ達成 【C】やや不十分 【D】不十分

主要な施策	主要な施策の概要	成果	自己点検による事務局の課題	教育委員による指摘・指導
人権・同和教育の啓発と人権学習機会の提供(生)	<ul style="list-style-type: none"> ・人権・同和問題啓発のための研修会を実施します。 ・広報誌等による啓発を図り、広く学習の機会を提供します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・10月と2月に職員、町議会議員向けの研修講座を実施し、同和問題についての現状と課題について学ぶ機会を設けました。 ・8月の同和問題啓発協調月間、12月の人権週間には公民館誌、町の広報誌において啓発の記事を掲載しました。 <p>また、小学校の道徳授業で人権問題に対する学びの成果を公民館に掲示しました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・研修を受けたからではなく、日常的に意識できるように、啓発については引き続き実施して行く必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人権問題はいつの時代にも出てくる問題で、個々人が意識しなくすように努力することが大切かと。そのための方策を検討する必要があるかと思います。 ・人権・同和教育は大人から子どもまでが身近な問題を分かりやすい言葉で伝えていく必要があるかと思っています。お互いを認め合う環境づくりを推進してください。 ・人権問題・差別に対する意識をより深め撤廃に向け啓発活動をお願いします。 ・人権・同和問題啓発のための研修会・講座等を町民の多くの人に参加できるように工夫して下さい。
		4段階評価		A

◆ 課題に対する対応

【人権・同和教育の啓発と人権学習機会の提供】

・今後も引き続き活動の推進をおこない、各地域の集会等でも研修の機会をつくるなど、広く啓発を実施していきます。

◆ 有識者委員会の意見

・啓発は必要であることから、継続して行ってほしい。ただし、開催の方法等については、新しい手法等を見つけて行ってほしい。

IV 夢、感動と活力を生むスポーツの振興

令和2年度 点検評価シート

・老朽化に伴う修繕・改修について緊急性等も考慮しながら、計画的に実施していきます。

◆ 有識者委員会の意見

- ・施設の老朽化については、大きな予算措置を伴うことから計画的に進めて行ってほしい。
- ・施設改修の際には、町民に工事期間の周知徹底を図ってほしい。
- ・登録制度の導入は、高く評価される。一方で、一般の町民の利用が妨げられないように配慮してほしい。

2 生涯スポーツの推進とスポーツ交流事業の推進

健康で心豊かな人づくりを目指し、各世代に応じたスポーツ・レクリエーション活動とスポーツ交流事業を推進します。

● 令和2年度 主要な施策・内容

4段階評価 【A】十分達成 【B】ほぼ達成 【C】やや不十分 【D】不十分

主要な施策	主要な施策の概要	成果	自己点検による事務局の課題	教育委員による指摘・指導
ニュースポーツの推進と普及(生)	<ul style="list-style-type: none"> ・ニュースポーツ講習会や希望区への出前講座を実施し、推進と普及の強化を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・講習会についてはコロナ禍により実施できなかったが、各区へニュースポーツの貸出し用具の周知と、出前講座の受付をおこない普及活動をおこないました。 令和2年度は、用具の貸し出が3件、出前講座を1回開催しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施につながるように、魅力やルールの説明を引き続き行っていく必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・色々なニュースポーツがありますが、やりたいニュースポーツは何か、アンケートをとってみたいと思います。 ・各地区の交流大会（老人会・子どもクラブ等）でニュースポーツを体験してもらい、幅広い年代間の交流に役立ててほしいと思います。 ・コロナ対策を十分に実施して、講習等できればと思います。 ・感染対策をしっかり講じて、活動を行えるものについては実施してほしいです。

令和2年度 点検評価シート

主要な施策	主要な施策の概要	成果	自己点検による事務局の課題	教育委員による指摘・指導
総合型地域スポーツクラブ（がばい余暇クラブ）による取組（生）	・町民の健康維持促進を図るための各種イベントを実施します。	・次年度の会員獲得につなげるため、サークルの体験教室を実施し気軽に参加できるように取り組みました。 また、現会員向けにはサークル対抗ボーリング大会を実施し、サークル間の交流も実施しました。	・コロナ禍の中でも安心して参加できるような取り組みが必要です。	・各サークル間の交流もあり健康で心豊かな人づくりに役立っていると思います。今後も充実した活動になる様に期待します。 ・感染症対策に十分配慮して下さい。 ・感染対策を万全にして、実施して下さい。
		4段階評価		A

◆ 課題に対する対応

【ニュースポーツの推進と普及】

・既にニュースポーツをおこなっている区の取り組みを紹介するなど、取組みやすい事例を紹介し、普及につなげていきます。

【総合型地域スポーツクラブ（がばい余暇クラブ）による取組】

・引き続き、クラブに興味を持ってもらえるような取組を実施し、会員の増加につなげていきます。

また、活動については各「感染症拡大予防ガイドライン」等を参考に活動の推進をおこないます。

◆ 有識者委員会の意見

・ニュースポーツの普及には、時間がかかると思われるが、いろんな機会を通じて普及して行ってほしい。そのことが備品の貸し出し増につながると思われる。

V 子ども・子育て支援事業の推進

1 子どもの心身の健やかな成長に資する教育・保育環境の整備

家族形態や就労形態が多様化するなど社会情勢の変化に伴い、乳幼児保育、障がい児保育の充実とともに、延長保育、一時保育など保育に対する多様なニーズがあります。

幼児教育・保育無償化の影響により保育ニーズが予想以上に高くなっていることや、子ども・子育て支援法により保育所入所の条件が緩和されたことで未満児の入所希望が増加していることから、民間保育園の充実により当初縮小の予定であった江北保育園においても、未満児からの園児受入れを行うこととしました。

また、子どもを持ちたい人が安心して産み育てられる環境づくりをするためには、子育てと就労・社会参加の両立支援が必要不可欠であり、子育てと就労支援の柱となるような保育所の整備と自主的な運営改善を進める必要があります。

● 令和2年度 主要な施策・内容

4段階評価

【A】十分達成

【B】ほぼ達成

【C】やや不十分

【D】不十分

主要な施策	主要な施策の概要	成果	自己点検による事務局の課題	教育委員による指摘・指導
民間活力による保育供給量の拡充(子)	<ul style="list-style-type: none"> 江北保育園は、民間保育園の充実により当初縮小の予定でしたが、再度未満児の受け入れを行い、女性の就労意欲の高まりや幼児教育・保育の無償化の影響により、急増した保育需要へ対応します。【充】 短時間勤務の保育士資格を持たない保育士の補助を行う者を雇上げることや、地域住民や子育て経験者などの多様な人材を保育にかかる周辺業務に活用します。これにより、保育の体制を強化し、保育士の負担を軽減し保育士の就労継続及び離職防止を図り、働きやすい職場環境を整備します。【新】 	<ul style="list-style-type: none"> 永林寺保育園の認定こども園に認可変えを行い、定員 101 名から定員 115 名（幼稚園部分 15 名、保育園部分 100 名）と 14 名の定員増を行いました。また、ニチイキッズこうほく保育園の創設に対し小規模保育所整備補助を行い、定員 19 名増を行いました。 園長会を月 1 回程度開催し、江北保育園、江北ひかり保育園及び永林寺保育園園長と情報交換を行い各園の職員の資質向上のための取組みを積極的に支援し、保育の質の底上げに努めました。また、永林寺保育園と江 	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度以降も保育需要の高まりが予想され、待機児童が出ないよう対策する必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育供給量については、努力していただきありがとうございます。保護者が安心して勤められる体制づくりは重要です。また、保育士の確保と働きやすい職場の環境づくりにも努めてほしいと思います。 保育士不足を保育士補助者の活用で保育体制を整備できた事は良かったと思います。保育の質が低下しない様保育士以外の研修等も実

令和2年度 点検評価シート

主要な施策	主要な施策の概要	成果	自己点検による事務局の課題	教育委員による指摘・指導
		北ひかり保育園に対し、保育補助者雇上及び保育体制強化に対して補助を行い、地域住民や子育て経験者などの多様な人材を活用し、保育士の負担軽減等に繋げました。		<p>施してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・待機児童、保育士不足等問題はありますが、解決に向けて支援・対策が出来ればと思います。 ・保育士の人員確保引き続き宜しく願います。
		4段階評価		A

◆ 課題に対する対応

【民間活力による保育供給量の拡充】

- ・令和4年度開所に向けて、永林寺保育園第2園（仮）おたまこども園）の創設に対し補助を行い、今後も待機児童が出ないように努めます。
60名定員（幼稚園部分15名、保育所部分45名）

◆ 有識者委員会の意見

- ・現状では、保育士不足が生じていないことは評価できる。ただし、今後について予断を許さないことから、待機児童がでないように引き続き人員確保、予算確保を努力してほしい。

令和2年度 点検評価シート

2 子育て支援事業の推進

2020年度から2024年度の5ヶ年度を事業計画期間とした次期子ども・子育て支援事業計画の策定を行い、子育て支援施策の更なる展開を推し進めます。

また、国の子ども・子育て支援事業を活用して、子育てに関する保護者のサポートを行います。

● 令和2年度 主要な施策・内容 4段階評価 【A】十分達成 【B】ほぼ達成 【C】やや不十分 【D】不十分

主要な施策	主要な施策の概要	成果	自己点検による事務局の課題	教育委員による指摘・指導
こどもセンター「うるる」事業(子)	・子育て中の保護者の悩み相談を行います。	・4月～5月はコロナ感染症対策により行事をすべて中止し来館者も減少しました。来館者に対しては積極的に児童厚生員が声掛けを行い、日常の子育てに関することなどの話をよく聞き、保護者の悩みに向き合いました。	・役場福祉課、児童相談所等にケースをつなげるような重篤事案はありませんでしたが、今後相談内容によつて的確・適切に専門機関につなげる知識を習得する必要があります。	・子育て中の保護者の悩みは尽きません。できれば妊娠中から安心して気軽に相談できる場所(人)づくりを行って頂ける様期待します。 ・保護者の困り感や悩み、相談があった場合は速やかな対応をお願いします。 ・個々のケースがあり専門的な知識も必要だと思います。研修会等を行って下さい。
給食費助成事業による経済的負担の軽減(子)	・小・中児童生徒への学校給食費補助により、保護者の経済的な負担を軽減し、子育てしやすい町を目指します。	小学生 1人当たり年間 45,650円 中学生 1人当たり年間 55,000円 助成金額計 38,634,264円 保護者の経済的負担軽減につながっています。	・ふるさと納税が財源であるため恒久的な財源の確保が課題です。	・給食費補助事業については、発足当時、「安定した財源の確保」をと申し上げましたが、これはぜひ実行してほしいと思います。 ・給食費助成事業は続けて欲しいところですが財源であるふるさと納税の減少が気になります。納税先に選んで頂ける様魅力ある江北町の返礼品の開拓・選定を検

令和2年度 点検評価シート

主要な施策	主要な施策の概要	成果	自己点検による事務局の課題	教育委員による指摘・指導
				討してください。 ・財源確保に対して検討する必要がある様に思います。 ・財源確保、宜しく願います。
		4段階評価		A

◆ 課題に対する対応

【こどもセンター「うるる」事業】

- ・児童厚生員に対して研修を実施します。
- ・うるる行事の工夫（まず、うるるに来館してもらうきっかけづくり）を行います。
- ・コロナ対策を万全に行いつつ、行事中止にならないような内容を検討します。

【給食費助成事業による経済的負担の軽減】

- ・今後も事業を継続できるよう、ふるさと納税を含む財源確保に努めます。

◆ 有識者委員会の意見

- ・子育て支援事業や給食費補助は、子育て中の世帯へのサポートとして必要不可欠な事業である。町としても人口減少を食い止める有効な手立てでもある。引き続き、予算確保の努力に全力を挙げてほしい。